

【最新モデルの無散瞳眼底カメラ付き光干渉断層計 (OCT) を導入いたしました】

網膜観察を非接触、非侵襲で行うことができるため、患者様への負担も少なく検査ができます。

高解像度で網膜の断面画像を描出することにより、黄斑部疾患や各種網膜疾患の検出、早期発見、経過観察を行うことができます。

また、OCT-Angiography (OCTアンギオグラフィー) 撮影を行うことで血流情報を抽出し、非侵襲で網膜血管を各層別に観察することが可能になりました。

緑内障診断においては、網膜の厚みを正常値と比較し解析処理を行うことで、緑内障の診断ができます。

さらに、低光量でカラー眼底画像を撮影することもできるので、従来の眼底検査と同様に病変等を確認することができます。

